

語り部、動きだしました！



南城市尚巴志の語り部育成講座（全7回）が本格始動しました。

第二回目は、南城市内の史跡ツアーを行いました。歴史家の上里隆史先生同行の、贅沢ツアーです。訪れた先は、「佐敷上グスク」と「喜屋武久殿（ちゃんくどうん）」。「佐敷上グスク」は尚巴志の父思紹（ししよう）とともに築かれた、三山統一のスタート地となった場所です。まだ尚巴志が力を持つ前のグスクということで、石積みではなく、質素な土盛りの小さなグスクですが、ここから天下人が巣立ったこともあり、参加者にとっては目に映るもの以上の「何か」を感じているようでした。佐敷上グスクから望むことができ

る「大里グスク」や勝連を眺めながら、尚巴志は何を考えていたのでしょうか。

「喜屋武久殿」は尚巴志が北山を治める際、捕虜となった北山王四男喜屋武久子（ちゃんくぬし）住んだ屋敷とされています。尚巴志が生きていた頃の屋敷をイメージして欲しいと上里先生が選定された場所です。参加者は屋敷の側にゴザを敷き、尚巴志の時代に作られた中国製青磁にミキを注ぎ、当時の人たちがしていたであろうことを触覚や味覚から体験しました。

ツアー後は、感じたことを文字に残すためのワークショップが行われました。参加者に出されたお題目は「ツアー中に聞いた音はどんな音？」「尚巴志と思紹が佐敷上グスクでした男の会話」。人間・尚巴志を身近に感じるために、歴史書には残っていない巴志の日常に想いをめぐらす機会となりました。参加者は父と子の会話を史実に即しながらも、人間味あふれるせりふを考え出し、発表では尚巴志になりきっていました。（笑）

琉球史の「へー」

上里先生の解説のもと、市内史跡を廻りましたが、そこで感じたことを綴っていきます。

① 佐敷上グスクは簡素な作りだった！

三山統一の尚巴志のグスクと聞くだけで、大きく立派なグスクかと思っていたが、とても簡素で驚き！小さな所から始まり、琉球を治めるま

② 佐敷上グスクから中城湾を望むことができ、

歴史の舞台となる勝連グスク、中城グスク、大里グスクなどを感じられる景色を尚巴志はいつも見ていたのか。そう思うと、三山統一への気持ちは生活の中で作られたのかと思う。

③ 尚巴志が住んでいたであろう佐敷上グスク内の敷地がとても小さい。喜屋武久殿も見ても、やはり小さい。お家の中の活動は限られていて、人々は家の側で様々なことを行っていたのかと想像する。しかし、喜屋武久殿の近くでゴザを敷き座っていると、蚊たちがすぐ群がってくる。当時の人たちは蚊とどのように共生していたのだろうか。刺されても気にしなかったのだろうか。

④ 尚巴志がいたころのお酒は神酒（ミキ）だということだが、作り方がすごい。女性が口にお米をいれ、くちやくちや嚙んで吐き出し、それが発酵する。うーん…、想像してみる。

尚巴志語り部ワークショップ

五感で体験する史跡ツアーを終えた参加者は三つのグループに分かれて「感じたことを文字にするワークショップ」を行いました。

「ツアー中に聞いた音はどんな音?」

聞こえてきた自然の音はもちろん、こんな音が聞こえてきそう・・・と発想を広げ、実際には聞こえないけど、心で感じた音も出てきました。例えば「シャラリンチー」何の音なのか?分かりますか。

「尚巴志と思紹が佐敷上ダスクでした男の会話」

ここでは尚巴志とその父思紹になりきってもらい、先ほどツアーで訪れた場所で、どんな会話が繰り広げられたのかを表現してもらいました。「佐敷上ダスク」から望むことができる馬天港に関するものが多数出ていました。「尚巴志と外の世界へのあこがれ」を表現していました。

さすが普段から読み聞かせを行っているお母さんたち!すばらしい演技力を発揮し、同行していた演出家の富田めぐみ先生も終始笑顔でみなさんの発表を観ていらつしゃいました。

語り部たちの美味しいおやつ

講座では座学時に、琉球の歴史を想わせるお菓子を用意します。味覚からも歴史を感じてもらいたいからです。今回のドリンクは、

・勝山シークワサー
(無農薬)と花見糖の
スッキリドリンク



事務局スタッフのひとこと

今回のツアーでは少し反省。蚊が半端なくくらいに押し寄せる中、ミキを飲んでもらい、しかも文句一つでずの対応。

ありがとうございます。しかも、尚巴志と父のせりふを考えろ!とか、それを演じろ!とか、そんな無茶ぶりにも、輝くばかりの演技力で対応していただき、やはりありがとうございます。(石田)

いよいよ始まった実践編でついにお母さんたちの秘めたるパワーを見させてくださいました。みなさんが発想を豊かにしているとき、ほんとにキラキラに輝いていましたよ♪笑 また次回も楽しみにしています!(岡元)

今後の予定

第四回 一月二日(火)

「尚巴志を感じるツアー②」 講師:上里隆史

第五回 一月二八日(火)

「朗読劇創作のワークショップ①」 講師:富田めぐみ

第六回 二月二日(火)

「朗読劇創作のワークショップ②」 講師:富田めぐみ

第七回 二〇一五年二月三日(火)

「朗読劇お披露目会」 講師:富田めぐみ

次回の予定

次回も引き続き、尚巴志の生きた時代を感じるツアーです。今回は少し力を持った尚巴志を感じてもらいます。

日程: 二月二日(火) 時間: 九:四〇~一二:〇〇

集合場所: シュガーホール集会所

目的地: 糸数ダスク、大里ダスク

※当日は歩きやすい靴、多少汚れてもよい服装でお越しください。会場に戻ってからの飲み物をご用意しますが、ツアー中の飲み物については必要な方は各自でご持参ください。

前回のツアーと同じくシール型蚊よけは事務局で用意しますが、一層の対策が必要な方はご自身でご持参ください。多少の雨の場合はツアーを行います。悪天候の場合は室内での受講となります。